



発行日 \* 2014年1月1日  
発行所 \* 社会福祉法人 名古屋文化福祉会  
児童養護施設 名古屋文化キンダーホルト  
キンダーホルトをささえる会  
住 所 \* 〒480-1103  
愛知県長久手市岩作琵琶ヶ池50-1  
T E L \* 0561-62-4728  
F A X \* 0561-62-4736  
E-mail \* kinder@coast.ocn.ne.jp  
H P \* <http://www.6.ocn.ne.jp/~kinder>

## ・・・謹んで新年のお慶びを申し上げます・・・

園長 西川 信

新年あけましておめでとうございます。旧年中はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございます。本年がよき年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年、11月9日、「ホルトふれあいパーティー」は天候にも恵まれ、楽しい集いとなりました。長久手市福祉課の皆さん、長久手市社協さん、長久手市教育長さん、長久手小・中学校の皆さん、民生委員の皆さん、愛知中央ライオンズ会長ほか皆さん、商工会青年部の皆さん、トヨタ博物館館長さんとボランティアの皆さん、アトリエの学生さん、福祉サポートさん、こどもサポートネットあいちさん、お茶の先生、南おやじの会さん、地域の皆さん、留学生のみなさん、保護者・卒園生の皆さんなど、300余名のご参加をいただきました。小学校の先生方とトヨタ自動車のボランティアの皆さんには、今回新たにお店を出して頂きました。ご協力頂いた大勢の皆さんに改めてお礼申し上げます。

ふれあいパーティーでは思わぬこともありました。小学生の頃ホルトで一時過ごしたことがある子どもが久しぶりに訪ねて来てくれました。彼は、ホルトのボランティアさんとの繋がり、前日偶然にふれあいパーティーのことを知ったとのことでした。久しぶりに顔を合わせる事となったのですが、大学生の彼がネットに載せていた書き込みに大きな反響があり、マスコミでも取り上げられ書籍も出版されと、今、大変評判になってい

るとのことでした。大人になった彼と当時の思いで話しに花を咲かせその本も頂くこととなりました。思わぬできごとにびっくりでした。

11月24日、豊田市で県下の児童養護施設等が集まり「音楽の集い」が行われました。キンダーホルトは今回出演はありませんでしたが、平成26年度は当番施設となります。平成26年11月23日（日）に、長久手市文化の家で、第36回音楽の集いを開催する予定となっております。長久手市はじめ、地域の皆さんにもお力添えを頂くこととなるかと思っておりますがよろしく願いたします。

11月30日、今年度2回目の「わくわく遠足」が催されました。これは、キンダーホルトが企画し、長久手市広報で「家庭体験ボランティア」として参加を募ったものです。当日は、参加された地域の皆さん、長久手市社協、そしてキンダーホルトの子どもたちと職員、総勢19人で南知多へ出かけました。みかん狩り、バイキング、海辺の遊びを楽しみました。その様子は参加された山本さんの文章をお読み下さい。

年末は多くの皆さんからご寄付を頂きました。いつもお心にかけて頂き心より感謝申し上げます。子どもたち・職員一同、初心を忘れず、一步一步、それぞれの課題に向かって歩んでいきたいと思っております。どうぞ本年もよろしくお願い致します。

## 卒園生の皆さんへ

卒園生の皆さんお元気ですか？下記の日程で「卒園生の集い」を開催します。ご家族も連れて元気な顔を見せに来てください。お待ちしております。

日時：平成26年1月12日11:00～15:00

場所：中根原集会場

担当：前山、田端



# わくわく遠足会

第2回

## 「ありのままでいいんだよ」

山本 直樹 長久手市在住

はじめまして、今回キンダーホルトのわくわく遠足会(第1弾、2弾)に参加させていただきました山本直樹と申します。『子どもの未来』についていろいろと考えられることがありましたので、私の感想を書かせていただきます。

私には5歳の息子がいます。共働きで忙しく限られた時間ではありますが、おもいきり楽しむ時間を作るようにしています。そして、息子の笑顔を見て幸せだなと感じることが多いです。そんな何気ない生活があたり前だと思っていました。今回キンダーホルトの子ども達と接してみ、そして一緒に行動してみ、あたり前の事ではないことに気がきました。子ども達の笑顔に違和感を感じずにはいられませんでした。

私が接した小学校3年生の男の子は、おいしく食べる食事のときでさえ3回もトイレに行き嘔吐していました。摂食障害だと思います。何かしらの心の問題を抱えているのではないのでしょうか。そこで一緒にトイレに行き、「辛いことがあれば気持ちを表に出してもいいんだよ」と声をかけ思わず抱きしめました。私には今、そんなことしかできず心が痛みました。気持ちに寄り添っていくこと、ありのままを受け入れて行くことが、本当に大事なのではないかと痛烈に感じました。

親と一緒に居られないという環境は幼い子どもにとって特別なことで、親からの絶対的な愛情、無条件に受け入れてもらえる場所がないことは、私たちの想像以上に辛く孤独なことではないのでしょうか? 同じ未来を担う子どもたちに何らかわらないのに、「今が辛いんだ! どうしたらいいんだよ!」という子どもの心の声を聞いてあげられる環境が少ないのは、悲しいことだと思います。

ふれあい遠足会は、家庭体験ボランティアや里親を考

える人に、実際に子どもと触れ合って考えてもらうというイベントですが、まずは子どもの気持ちにまっすぐ寄り添う大人の心も準備が必要だと感じました。私は、子どもが大好きです! 将来的にはこういった子ども達と寄り添っていけたらと本当に思いました。そしてどんな子ども達もありのままの姿でのびのびと成長していける世の中になればとも思いました。

今回、このような子どもにも必要な、気持ちに寄り添っていける大人が大事と、気付かせて下さった皆様や金田先生には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、改めて自分の置かれている現況が恵まれていることに気づくことができましたし、愛情を持って育ててくれた親に感謝するとともに、これからも我が子に愛情を注いでいきたいと思えます。

また、血のつながりとは関係なく未来ある子ども達の笑顔のために、何が出来るのか真剣に考えて行きたいです。

貴重な体験をさせていただき、本当に、本当に、本当にありがとうございました。



### 詩 吟



毎週第1、3火曜日の16:00~17:00に詩吟の安藤先生(長久手市在住)に来て頂き、4名の子どもたちが楽しく練習をしています。まだ始めて1年ですが、先生の温かいご指導の元、様々な大会や長久手市の芸能フェスタ等にも参加させて頂いています。今後も、継続して頑張っていきたいと思えます。

鈴木 昌子

### 1月からの予定

- 1月1日 祝膳  
ホルトの子ども達が一年の抱負を発表します
- 1月12日 ホルト卒園生の集い
- 1月17日~19日 白山スキー村
- 2月2日 施設親善マラソン大会
- 2月3日 節分
- 3月末 卒業・卒園お祝い会



